

宮崎法務 総合庁舎



所在地：宮崎県宮崎市別府町49
敷地面積：5,071.34㎡
建築面積：2,166㎡
延床面積：11,442㎡
構造・規模：SRC造一部S造、地下1階地上7階建
設計：(株)佐藤総合計画 九州事務所
施工：建築／(株)竹中工務店
電気／住友電設(株)
完成：平成20年11月

S22

市内に分散していた法務関係の出先機関を1カ所に集約した「宮崎法務総合庁舎」。周辺環境との調和を図った入りやすい施設づくりを行う一方で、庁舎の環境負荷低減と省エネルギーが図られています。照明は、機能的で高効率な器具の採用と照明制御により、高度な環境配慮がなされています。

周辺環境との調和を図りながら、環境負荷の低減と執務環境の快適さを両立したエコ庁舎

宮崎法務総合庁舎は、市内に分散していた宮崎地方検察庁、宮崎地方法務局、福岡入国管理局宮崎出張所など、4つの法務関係の機関を1カ所に集約して建設されました。

オフィス空間は、豊かな自然採光と自然通風が得られるようH型プランを採用し、アメニティの高い執務空間が確保されています。また、利用者の多い法務局は低層階に配置して利便性を高め、セキュリティの確保が必要な検察庁は高層階に配置し、一般動線と専用動線を分離してプライバシーを確保しています。

執務室はHf蛍光灯器具と昼光利用センサーにより適正照度を維持しつつ、省エネを実現

エントランスホールの照明は、円形の折上天井に施したHf32W蛍光灯トラフ昼白色(5000K)の間接照明と周囲の平天井部のコンパクト形蛍光灯ダウンライトを利用者の動線に合わせて配置し、奥のエレベーターホール前のダウンライトを電球色(2800K)とすることで、色温度の変化を効果的に利用して誘導効果を高めています。

一般執務室の照明は、Hf32W蛍光灯2灯用埋込器具調光形(バッフル付)を整列配置し、あかりセンサーとの連動による昼光利用制御で適正照度を維持しながら、余剰な明るさをカットして省エネを図っています。上級執務室では、折上天井の間接照明にHf32W蛍光灯トラフを用い、折上天井中央部と平天井部にアクリルカバー付Hfコンパクト形蛍光灯ダウンライトを配置して、上質感のある照明空間としています。

書庫の照明は、書架の各列間にHf32W蛍光灯埋込器具と人感センサーを配置し、人の在・不在を検知してON/OFF制御することで、積極的に省エネを図っています。

夜間には、庁舎西側の車寄せの底下面が投光器の電球色の光でライトアップされ、庁舎内からの昼白色の漏れ光とのコントラストが効果的に演出されています。



エントランスホールの照明 Hf蛍光灯ランプの間接照明とダウンライトを利用者の動線に合わせて効果的に配置



一般執務室の照明 Hf32W2灯用埋込器具調光形バッフル付と昼光利用センサーの連動で適切な明るさに照明制御



庁舎西側の夜景 車寄せを効果的にライトアップし、室内の照明との光色のコントラストを生かしている



間接照明とアクリルカバー付ダウンライトで落ち着いた雰囲気の上級執務室



書架の各列に人感センサーを配置した書庫の照明

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
屋内	蛍光灯埋込器具(バッフル付)	FHR-42930K-PD9	685	32WHf蛍光灯×2
	蛍光灯器具トラフ	FHT-41007N-PA9	43	32WHf蛍光灯
	蛍光灯埋込器具(下面開放)	FHR-42800-PH9	38	32WHf蛍光灯×2
	ダウンライト	FHD-31016-PM9	501	32Wコンパクト形蛍光灯
	ダウンライト	FHD-31016-PM9	127	24Wコンパクト形蛍光灯